

北斎通り まちづくりニュース



No. **27**

まちづくり活動情報誌
発行●北斎通りまちづくりの会
亀沢・北斎ネットHP <http://www.hokusai-dori.com/>

北斎通りまちづくりの会で一緒にまちづくり活動に参加しませんか？
新メンバー募集中です。 連絡先：bureau@hokusai-dori.com



北斎祭り

昨年10月1日（土）大横川親水公園噴水広場にて「北斎祭り2016」を開催しました。日中は体験型ワークショップや展示・見世物を行い、多くの人々にお越しいただきました。

夕方より噴水周りをライトアップする灯りのフェスティバルを行い、幻想的な景色をみんなで楽しみました。

詳しい様子は「北斎祭り」ホームページ (<http://www.hokusai-dori.com/matsuri/>) もご覧ください。



金魚ねぶた製作



手作り楽器体験



着付け体験



ハワイアンショー



マジックショー



灯りのフェスティバル



ねぶた運行

すみだ北斎美術館開館記念行事として昨年11月27日（日）、「ねぶた運行」を開催しました。

北斎祭りワークショップで作った金魚ねぶたと弘前市より借り受けた大きなねぶたを並べ、錦糸一丁目の津軽稲荷神社から北斎通りを西に向かい、緑町公園まで練り歩きました。緑町公園周辺は江戸時代に弘前藩津軽家の上屋敷があった場所で、北斎の作品もあったと言われています。

また、津軽稲荷神社は津軽家の下屋敷の跡地です。これらの由縁もあり、弘前市と青森県人会の皆様にご協力いただき、北斎美術館の開館を祝いました。



「ヤーヤ、ドー」のかけ声とともに運行



晩年の北齋さん と日本の近代化

北齋さんは「絵本彩色通」に「九十歳よりは又々画風をあらため」と記しました。

亡くなる直前、数え90歳になった北齋さんは「富士越龍図」を描いています。

北齋さんの生きた時代、日本は鎖国状態でしたが、長崎出島のオランダ商館や中国からの書物が翻訳され読まれていました。

北齋さんの弟子には、西洋砲術を長崎の高島秋帆に習っていた蘭学者、大塚同庵もいたので、西洋での蒸気機関の発明と溶鉱炉製鉄、産業革命、鉄道の出現を知っていたかもしれません。反射炉製鉄の本も1843年頃から伊東玄朴たちにより翻訳されていました。

1853年、存命なら94歳の時、江戸湾にはペリーの蒸気黒船がやって来て開国します。(岡本雅義)

「富士越龍図」 富士山を取り巻く黒煙の中を昇る龍は、石炭の黒煙と日本の近代工業化の始まりを表現したようにも思えます。



亀沢地区建替え調整協議会の報告について

近年、亀沢地区では町工場や駐車場から集合住宅への建替えが進み、人口も増加しています。墨田区では集合住宅条例や開発要綱をつくり、事業者地域団体(町会やまちづくり団体)への説明を義務づけています。亀沢では北齋通りまちづくりの会と亀沢連合町会で建替え調整協議会を設立し、説明の受皿になっています。協議会は平成24年の準備会設立からスタートし、これまでに30件の建替えの協議をおこなってきました。昨年(平成28年1月~12月)は下記の4件の協議をおこないました。景観まちづくりから、防災、町会加入、地域コミュニティまで協議は多岐

<平成28年建替え調整協議>

- | | |
|----|--|
| 30 | (仮称) 西澤マンション新築工事
(亀沢4-18-4) 7月8日開催 |
| 29 | (仮称) 墨田区亀沢4丁目計画新築工事
(亀沢4-19-1) 5月9日開催 |
| 28 | (仮称) 墨田区亀沢1丁目共同住宅 PROJECT
(亀沢1-27-1) 4月4日開催 |
| 27 | (仮称) 亀沢2丁目プロジェクト
(亀沢2-5-1) 1月25日開催 |

にわたります。協議会を開催することで事業者の意識や対応も変わっていきます。地域と事業者と行政で協力してまちづくりも良い方向に向かっています。昨年11月にはすみだ北齋美術館も開館し、多くの来訪者を迎えています。来訪者にとっても、地域で暮らす私たちにとっても、亀沢がより魅力的な町になり、私たちが愛着を持ち長く住み継いでいける町になることを願っています。

亀沢地区の景観計画と地区計画の変更について

すみだ北齋美術館が開館し、亀沢の町は多くの来訪者を迎えています。今後、さまざまな店舗、事業所の出店も予想されます。町の景観を良好に保ち、従来の住環境をさらに魅力的なものにすることを目標として、亀沢地区は墨田区で最初の景観形成重点地区に指定されます。あわせて地区計画を改正して、屋外広告物の規制、簡易宿所等の建物の用途の制限などが今年の6月頃に変更される予定です。北齋通りの街路樹の整備、歩道の整備とあわせてすすめられる予定です。